

藻かけ



へら研阪神クラブ会報 平成二十五年三月号 NO.471

発行〒666-0024 川西市久代5丁目9番1号
(株) クシロ内 へら研阪神クラブ

TEL 072-759-7023 FAX 072-759-8615
photo 郷田 満 滝沢 享 稲森 豊

編集 滝沢 享 稲森 豊 岡田寿夫 杉原武弘

二月例会

滝沢 享

二月十日日岡山県の倉敷川、妹尾川、丙川にて会員30名とオープン参加4名の参加を得て開催した。

午前6時30分妹尾川右岸河口に集合稲森会長の挨拶郷田理事長よりオープン参加の太田重徳さん、平井躍視さん、高尾秋慶さん、三根嗣音さんが紹介されました。続いて競技方法の説明と最近の釣況報告があり、戻り寒波の影響でどの河川も厳しい状況との事。フリーでの入川で何とか型を見ようと多くの会員が妹尾川右岸河口の排水機場貯水池やホソに入た。

丙川は両岸とも整備されて昔の面影はなく、モジリも全くない状況。

排水機場貯水池に入た加藤さんが四投目で早くも尺上のへらを釣るが、魚の動きは鈍く他はアタリもなかなか出ない。

一方ホソは小ベラではあるがポツリポツリと釣れ出したがこちらも下流側だけが釣れていた。午後4時検寸終了。

妹尾川から倉敷川へ場所替わりした川上さんが午後の僅かな地合いで良型を釣り優勝、2位の栗原さんは妹尾川中流で、3位の大橋さんは妹尾川排水機場貯水池でそれぞれ良型を釣り入賞した。釣果率38%



妹尾川・ホソでダブルヒット!

脇阪さん(手前)と北尾さん(奥)



排水機場貯水池の加藤さん・伊藤さん

二月例会成績表 (ヘラブナ二尾長寸)

優勝	川上大二郎	76.1cm	400点
2位	栗原 天高	72.8cm	390点
3位	大橋 充	66.2cm	380点
4位	田中 秀雄	65.3cm	370点
5位	加藤 仁	64.1cm	360点
6位	元吉 茂司	61.6cm	350点
7位	郷田 満	60.0cm	340点
8位	北尾 博之	58.4cm	330点
9位	脇阪 博蔵	51.2cm	320点
10位	岡田 寿夫	39.0cm	310点
11位	三木 修	35.8cm	300点
12位	高木 勇作	32.2cm	290点
13位	松下 英樹	24.5cm	280点

(以下参加点100点)

佐藤 忠純、綱島 清一、藤井 秀和、森田 定美、井上 裕之、板東 英昭、熊田 智文、鈴木 誠司、白井 良紀、田路 秀一、杉山 健一、伊藤 規行、藤井 栄子、明石 徹、滝沢 享、稲森 豊、安藤紀久夫

(オープン参加)

太田 重徳、平井 躍視、高尾 秋慶、三根嗣音

二月例会風景



ホソで釣った元吉さん



垣根越の釣り人は誰?でしょう

でも執念で1枚を釣りました!



最長寸39cmだがあと1枚が釣れなかった岡田さん



オープン参加の三根君(小学六年生)



オープン参加の左から高尾さん・三根君・平井さん



オープン参加の高尾さん



二月例会初めての釣果

自己記録更新盾を持つ岡田さん

優勝者 川上大二郎

今回は瀬野さんと同行の予定でしたが、瀬野さんの奥さんが前日より急病の為、参加出来なくなり急遽1人での釣行となりました。瀬野さんとは2月5〜6日に一泊で試釣に行き妹尾川、倉敷川と2日間竿を出しましたが、全く釣れず例会当日もポイントは瀬野さん任せでしたので、サッパリ見当が付きません。取りあえず試釣の時地元の釣り人の話では妹尾川は興陽高校前が安定しているが、型を狙うなら



二月例会 上位入賞ポイント

二月例会 倉敷川・丙川・妹尾川 上位入賞者の仕掛け、エサなど

	竿	道糸	ハリス	ハリ	エサ	釣り方	釣果
優勝 川上大二郎	13尺	1.5号	0.6号	上 7号 下 6号	上 マッシュ、バラケG 下 新べらグルテン底	水深1m 床	4枚
2位 栗原天高	18尺	2号	0.8号	上 7号 下 6号	上下とも へらスイミー、α21 新べらグルテン、	水深1.2m 床	4枚
3位 大橋 充	19尺	1.2号	0.8号	上 8号 下 6号	上下とも いもグルテン、 α21	水深3m 床	3枚
4位 田中秀雄	19尺	1.5号	0.6号	上 6号 下 6号	上 マツハ、へらスイミー 下 いもグルテン、α21	水深1m 床	4枚
5位 加藤 仁	19尺	2号	0.8号	上 9号 下 7号	上下とも α21、いもグルテン	水深3m 床	5枚

ラがあるが倉敷川上流製材所前が良いと聞いていたので、先ずは確率の高い興陽高校前(?)に決めました。流れも強く全く釣れそうな気配もなく、10時過ぎに倉敷川に転戦しました。倉敷川には会員の方が大勢入釣しているだろうと思いましたが、明石さん1人のみでした。明石さんの話では「水が澄んでいて全く駄目」との事でしたが、ダメ元で西風を避ける為、明石さんより約100m下流に釣座をとりました。2時間程全くアタリがなくなりましたが、午後1時過ぎに突如浮子が動き最初の37.5cmが釣れました。その後直ぐに2枚目の38.6cmが釣れ、午後2時前迄頻りにアタリがありました。急にあたりがなくなり午後2時30分に納竿しました。釣果はへら4枚、バラシ4枚でした。倉敷川のへらは何れも体高のある見事なへらでした。入会後2月例会は一度も釣果がなくボーズ続きで、優勝できたのは昨今の異常気象の様でしょうか。試釣では釣れませんでした。が何らかの効果があったと思います。1人



理事会にて表彰された杉原武弘さん

稲森会長

一之江鮎夫賞
有難うございます
杉原 武弘

この度は大変名誉ある褒章「一之江鮎夫賞」を頂き有り難うございました。へら研阪神クラブに入会して四十数年、今思えば夢のような日々

での帰路になりましたが、お陰様で疲れは半減しました。今後ともよろしくお願ひします。一之江鮎夫賞受賞
一月二十九日(火)の理事会にて稲森会長より、杉原武弘さんに一之江鮎夫賞が贈呈されました。伊丹へら研からへら研阪神クラブに改名し関西、西日本と行動範囲を広げると共に、会則「本会は正しいへら鮎釣りの啓発と普及を図り、釣り場の開拓とへら鮎の保護・育成を行うと共に、会員相互の親睦と釣技の向上を図ることを目的とす。」を基本に活動し、野釣りを代表するクラブになりました。諸先輩や会員の皆さんの行動、努力、実践があつてこそ現在があると思ひます。故一之江鮎夫会長の理想がほぼ達成されたのではないかと思ひます。しかし、現在、へら鮎釣りは斜陽。トップリーダー阪神クラブとして何か出来ないかと思ひますが私も策がありません。これ以上釣り人口が減少するとは思われませんがへら鮎釣りが日本の文化として根付かせたいと思ひます。私は今後とも釣りに行く事は出来そうにありませんが、クラブの発展、野べら釣りの発展に微力ながら協力したいと思ひますのでよろしくお願ひ致します。